

# 茶道の稽古場 役立つ100の知恵

ページ

2\*はじめに 稽古と指南

## 入門と初稽古

- 14 ♣ 「求道の旅」も東海道も五十三次です。
- 16 ♣ 入門時の「束脩」は禪の言葉です。
- 18 ♣ 玄関に入る前にコート類を脱ぎます。
- 20 ♣ 初日はお稽古ぶりを見学します。
- 21 ♣ 洋服でも、足袋を履くとよいでしょう。
- 22 ♣ 利休居士に手を合わせてお稽古をはじめます。
- 24 ♣ 茶席では扇子必携です。

## お茶室拝見

- 28 ♠ 茶の間と茶室の違いは床の間です。
- 31 ♠ 正座は茶室の作法からはじまりました。

- 33 ♠ 畳の縁は身分をあらわす大切なしでした。
- 35 ♠ 畳目は二目一寸、3センチ。
- 37 ♠ 四畳半には陰陽五行が組み込まれています。
- 40 ♠ 建具には障子と襖があります。
- 41 ♠ 襖は学習の場にもなります。
- 43 ♠ 襖は合図をしてから開くべし。
- 44 ♠ 風炉先屏風は点前座を清浄にします。

## 割稽古

- 46 ◆ 息を吐くと、おじぎがしやすくなります。
- 48 ◆ 帛紗の色や生地、大きさは決まっています。
- 50 ◆ 茶巾は福が溜まるようにたたみます。
- 51 ◆ 茶筌は奈良県生駒市の名産品です。
- 53 ◆ 茶筌があれば、どこでもお茶が点てられます。
- 54 ◆ 盆略点前には子午盆を使っています。
- 57 ◆ 千歳盆は、茶櫃から考えられたお点前です。